

令和5年度 事業報告書

実施事業

[I] ライフ・ラーニング・メンバーズ事業及び支援事業

生涯学習事業を推進する企業、学校、団体、自治体、個人で構成される

・メンバーズにHPを通して、財団活動の案内やメンバーズの講座への後援など、学びが一層広がるよう支援

(1) 生涯学習に関連する情報やGLLC活動をライフ・ラーニング・メンバーズに周知

- ・生涯学習情報誌を2022年11月号よりリニューアルの為休刊
- ・連載「鬼の学び」作家鬼塚忠のアンテナエッセイ第18回「健康長寿を科学する」
- ・会員紹介記事 後援事業などの取材
- ・AJCクリエイターズコンテスト2023
- ・財団創立40周年を迎え交流会開催案内
- ・財団主催シンポジウム、
- ・助成金支給者の活動の取材
- ・「博士号取得支援事業」授与式
- ・博士号取得者のインタビュー
- ・「松田妙子賞」第3回 第4回 受賞者インタビュー

(2) ライフ・ラーニング・メンバーズ事業の普及

- ・LL会員の会員拡大を目的とするため各事業の新情報を随時HPに掲載することによって、財団の認知度を高め、事業の拡充につなげた
- ・交流会を4年ぶりに東京アメリカンクラブで開催
第27回ライフ・ラーニング・メンバーズ交流会 6月19日実施（参加者106名）
第28回ライフ・ラーニング・メンバーズ交流会 2月8日実施（参加者135名）
- ・財団のHPにて会員関連のイベント告知などを発信
- ・LL会員主催の表彰式やコンテストで「生涯学習開発財団賞」他を授与

(3) 講演事業

共催：青山学院大学社会情報学部附置社会情報研究センター

一般社団法人ワークショップデザイナー開発機構

協力：青山学院大学社会情報学部ワークショップデザイナー育成プログラム事務局

シンポジウム及びワークショップ（オンライン開催による）

① 2023年9月10日 「多元的共生社会における生涯学習を考えるシリーズ」第31回シンポジウム 「それってなんのため？」ってなんのため？

計画・目標・評価から距離を置いた場づくりの面白さについて探るシンポジウム

講演者：佐伯 胖 / 東京大学名誉教授

② 2024年2月10日 「多元的共生社会における生涯学習を考えるシリーズ」第32回シンポジウム リプレイスの学び 異分野の知見を自分に「置き換えて」考える

講演者：遠藤俊典 / 青山学院大学社会情報学部准教授/青山学院大学陸上競技部短距離監督

講演者：荻宿俊文 / 青山学院大学社会情報学部プロジェクト教授

会場：オンラインシンポジウム ※第27回より見逃し配信を開始

(4) 国際団体支援事業

1987年から後援しているハーバード大学男子アカペラグループ「クロコディロス」日本ツアーが3年ぶりに再開された。助成金を授与し歓迎会を開催

(5) 後援事業

財団の理念に適した会員の活動に共催及び後援

- ① 2023年7月4日(火)協賛会員 株式会社オールアバウトライフワークス
「AJCクリエイターズコンテスト2023」表彰式 東京都美術館 講堂
生涯学習開発財団賞を5名の作品に授与
- ② 2023年9月29日(金)LL会員 株式会社相田化学工業
第18回銀粘土でつくるシルバーアクセサリーコンテスト国際展 表彰式
生涯学習開発財団奨励賞(準グランプリ)を授与
会場: 東京池袋 東京芸術劇場ギャラリー リビエラ東京

(6) 財団WEBサイトの維持・更新

財団の実施する全活動への理解促進のためコンテンツを適宜更新

- ・新理事長ご挨拶・理事長就任プレスリリース
- ・理事長インタビュー(掲載誌紹介)
- ・博士号取得支援事業、松田妙子賞、助成金事業の募集や結果報告など
- ・生涯学習開発財団賞など後援事業の結果報告、開催レポートを更新
- ・講演事業のオンラインシンポジウムのYouTube動画、開催レポートを更新
- ・デジタル認定証(CloudCerts)採用の紹介
- ・連載記事、お知らせ、コラムの更新
- ・プライバシーポリシー改定
- ・Cookie(クッキー)ポリシー更新

[II] 有隣園研修センター事業

山梨県河口湖にある有隣園研修施設をLL会員他一般の方も幅広く活用出来るよう公開

- ・研修施設として利用(ピアノ使用) 利用13団体 141名利用 延べ13日
- ・音楽会として利用
- ・施設のメンテナンスを実施
 - 生垣等の剪定、高木枝処理・LPガス保安協会による検査
 - 草刈り機購入
 - トイレ等不良修理
 - セミナーハウス修補・塗装・下壁防腐剤上塗り
 - ボート小屋修繕・ボイラー修理・玄関鍵交換
 - 財団移転による荷物の搬入・整理
 - エレベーター点検

[III] 助成金支給事業

生涯学習のより一層の推進を図るため、選考委員による審査の結果、調査・研究等に対し助成金を支給

- ・募集期間:2023年7月3日より2024年1月15日 ホームページを通して広く一般公募した
- ・応募数:12名 本年度該当者なし

[IV] 博士号取得支援事業

年齢が50歳以上で、知的好奇心を持ち、かつ博士号の取得を目指す方々を支援すると共に、来るべき高齢化社会の生涯学習を促進し、より良い社会作りに貢献するため実施した

- ・募集期間:2023年9月1日～2023年12月1日
- ・募集告知:
 - 文部科学省・総務省記者クラブ プレスリリース
 - 財団WEBサイトに掲載
 - 主要新聞社に郵送
 - 全国地方国公立大学他に郵送
 - 東京近郊の主要大学(21大学)に郵送
 - 独立行政法人日本学生支援機構のWEBサイトに掲載依頼
- ・応募総数 :57名
 - 第一次書類選考:15名通過
 - 2024年2月15日に選考委員会により第二次選考の面接審査を実施
 - 第二次選考:面接 7名合格
- ・授与式: 2024年3月15日 財団会議室にて実施
各合格者にインタビューを行いWEBサイトに掲載

- ・2024年3月31日現在:申請者総数761名 受給者100名 博士号取得者57名
本年度の博士号取得支援事業合格者の7名をもって財団助成金支給者100名を達成
- ・GLLCWEBサイト博士の会作成に向けて、博士号取得者には論文要旨の提出を依頼
- ・WEB上で博士号取得者の学位論文・論文要旨を検索・整備
- ・博士号取得者インタビュー記事を順次HTML化

[V] 生涯学習開発財団 松田妙子賞 (Share your happiness)

「生涯学習」の新たな発展に寄与する個人や企業・団体を顕彰し、その活動内容および「生涯学習」の意義を広く社会に知らしめる目的で創設された松田妙子賞の第4回を実施

- ・顕彰規程公開
- ・選考委員会を実施(2023年10月10日)
- ・賞状と盾を作成
- ・募集期間:2023年6月1日～2023年10月3日
- ・募集告知:2023年6月1日
 - 文部科学省・内閣府記者クラブ プレスリリース配信
 - 財団WEBサイトを通して広く一般公募した(第4回)
- ・選考決定:2023年10月10日選考委員会により選考を実施
受賞者: 尾崎 章彦
<研究テーマ>
—地域医療の維持に向けた「生涯現役・生涯学習」戦略:福島県いわき市での取り組み—
- ・表彰式:2024年2月8日交流会にて表彰式(於:東京アメリカンクラブ)
- ・第4回受賞者インタビュー記事・受賞の言葉を財団WEBサイトに掲載

[VI] 人事 その他

- 2023年4月 理事長 佐藤 玖美 就任
- 2023年4月 財団顧問 山口 裕二 就任
- 2023年9月 事務局長 樋口 行男 就任
- 情報誌クリッピング問い合わせ対応 3社 終了

収益事業

[I] 資格認定事業

協賛会員

ライフ・ラーニング・メンバーズ会員の中で特に生涯学習に関する講座・プログラムを主催している企業・団体がレベルアップに応じて資格を与える際に財団がこれを後援する

協賛会員は原則として一業種一社

- 協賛会員 15団体・企業

新協賛会員：プレセナストラテジックパートナーズ

- 15企業が発行している120の講座、資格を後援（2024年3月現在）

- HP・WEBサイト上で協賛会員紹介

- 協賛企業へのサービス向上と今後の収益事業につながるアイデアのため、協賛企業に現状や問題点、財団への要望などのヒアリングを実施

- 電子認証デジタル化を導入・開始（2023年12月開始）

ブロックチェーンを使った電子認証システムを導入・開始

- 認定証料金改定（2024年1月以降）

発行手数料2,000円（税込み）/枚→2,500円（税別）/枚

※実質682円/枚の値上げ

- 協賛会費改定に伴う協賛会員覚書の改定

協賛会費300,000円（税込）/年→300,000（税別）/年

※実質27,273円/年の値上げ